

病虫害発生予察情報

1 月月報

平成 18 年 2 月 10 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況

2006 年 1 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比(%)	本年	平年比(%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	6.4	-3.4	-2.0	-1.7	2.0	-2.5	3	31	38.6	65
中旬	9.6	0.8	1.5	2.2	5.4	1.5	44	268	49.6	94
下旬	9.0	-0.1	-2.2	-0.9	3.4	-0.4	8	54	80.2	112
平均	7.8	-1.1	-2.6	-0.6	2.3	-0.6				
合計							55	110	172.2	92

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上旬は平年に比べかなり低く，中旬はやや高く，下旬はやや低かった。

降 水 量：上・下旬は平年より少なかったが，中旬は平年に比べかなり多かった。

日照時間：上旬はやや少なく，中・下旬は平年並であった。

<天候概況>

上旬：冬型の気圧配置の日や高気圧に覆われた日が多く，概ね晴れの天気となった。

中旬：関東南岸を低気圧が通過したため，曇りや雨となった。14日は大雨となった。その他の日は冬型の気圧配置や高気圧に覆われて，晴れの天気となった。

下旬：21日は関東南岸を低気圧が通過したため，雪となった。31日を除き，その他の日は冬型の気圧配置となって，晴れの日が多かった。

2 作物生育概況

(1)野菜類

年末から引き続き低温の影響を受け，作物全体に生育遅延がみられる。

半促成トマトでは，10日程度の生育遅延がみられる。

促成のイチゴでは，例年よりも高めの温度設定(7 10)にしているものの，成り休みを生じている圃場が一部にみられる。

コマツナ、ホウレンソウの施設栽培では，10～15日程度の生育遅延を生じており，露地・トンネル栽培では，これよりさらに遅れているものもあり，株張りが悪いものもみられる。

3 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト(施設・抑制)

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< 並 >	発生は平年並であった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ(施設)

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ(施設)

ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

イチゴ(施設)

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

特記事項なし

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報, 発生状況, 防除方法
などをお知らせしています。